町内一巡 志津川町看板カタログ

「志（こころざし）」の「津（みなと）」と「川」がある、私たちの町・志津川。いつまでも記憶の断片に残しておきたい「志津川町」の名の付く看板を集めてみました。

志津川町 うつりかわり点描

町報編

1957年・創刊号
2005年・520号

昭和32年（1957）4月に広報しづがわ創刊号が発行されて48年、登場した町民は述べ3万数千人を数えます。残念なことに、昭和35年の チリ地震津波によって、それ以前に発行された広報紙が流されてしまったことから、現存する最も古い広報は、昭和42年8月発行の80号です。（昭和32年9月の6号は、複写物のみが残っていました。）

近隣町村にさきがけて、広報発行を始めた志津川町。520号までの歩みは、町の歴史を物語っています。＊（号数）発行日

←志津川高校が、第67回全国高校野球宮城県大会・優勝。＊昭和51年8月発行の7～4ページから、8ページB5判サイズに

←佐藤八郎町長が、町政の現状について所信表明

←合併20周年記念特集号。町民の思い出・を掲載

←役場新庁舎落成。表紙面で、役場内を各課ごとに案内

←仙台鉄道管理局から永久貸与された、日本で最後のSLが松原公園に設置される

←小学生と地域のお年寄りとのふれあい学習会で、いしゃりつくりを学ぶ唐浜の光寿

←林久保地区の若者たちによりJR幻の民俗芸能、林の黒船まつりが36年ぶりに復活

←百歳の誕生日を迎えた抽沢の佐々木とみよさん

←植栽4年目で収穫を迎えた志津川リンゴと栽培組合長の芳賀孝義さん

←戸倉地区に町の水道施設が完成したことにより、全町での給水が実現

←行山波水戸辺鳥子踊りの免許皆伝にあたる「庭揃え」

←第42回全国青年大会合唱の部で、志津川青年団が日本一に

←チリ地震津波被害復興30周年記念式典にチリ共和国大使が来町。友好印にチリ共和国国旗が贈られる

←入谷山神平の山内若人宅でのやぶきた二番茶の摘み取り

←戸倉中学校二年生による炭焼きがまづくり

←町内各学校の映画鑑賞等、5団体が開催した、スマトラ島沖地震災害救援チャリティーコンサート

←その当時でも見かけることが少なくなっていた、長清水での新ワカメ干しの様子

←ふるさと学習会での化石探しと海岸採集

←NHKでも放映された地震津波防災訓練の様子

↑モアイのペーパークラフト型紙。みなさん作ってみましたか？ ＊平成15年10月発行分をもって、広報「お知らせ版」廃止

↑広報400号は町制施行100周年・町村合併40周年記念号は、24頁の「拡大版」。広報草創期の思い出を語った座談会や合併40年の年表も掲載

←先々月の広報に写真が載らなかった際、小学校の1年生が、広報担当者に自ら希望して表紙モデルとして登場

←新庁舎竣工開庁式挙行。全面改修された議場は、時計塔など、ほぼ戦前・全盛期を思わせる町の象徴・桜花・町木・町鳥も決まる

←終戦・抑留する町の未来に、鎮魂と、勝倉町長と青年4名による座談会を開催